

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 30 年 3 月定例会

議席番号 4 番  
高橋 速円議員

老朽化した町営住宅について

町では、町民の多様なニーズに合わせたかたちで賃貸借住宅を提供しているが、中でも大門住宅が初期の建設で、借地ということもあり、今後どのような施策を講じていくのか伺う。

1. 短期的に運ぶのではなく、緩やかな対応が必要と考えるが如何か。
2. 選択肢はいろいろな形が想定できると思うが、どのように考えるか。
3. 限られた財源の中での住宅政策について、町長の認識を伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 30 年 6 月定例会

議席番号 4 番  
高橋 速円議員

出雲崎小中学生の（仮）「見守り隊」について

悪質な小中校生への死傷事件が頻繁している。いつ出雲崎町でも発生しないとも限らない昨今、特に小中校生への下校時の安全対策が喫緊の課題である。

そこで以下の提言をし、町長の所見を伺う。

- ①生徒への（仮）「見守り隊」を新たに設けられないか。
- ②「見守り隊」参加者へのドライブレコーダー設置費用助成
- ③「見守り隊」車両ボディにはステッカー設置 以上

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 30 年 9 月定例会

議席番号 4 番  
高橋 速円議員

1 逆読みの「行政区別人口・世帯数」の予測と喫緊の課題について

近年の人口減少や少子高齢化等、各行政区別に事態を正面から受け止め、短期の予測のなかで災害等への対策をたてる必要がある。第 5 次総合計画が立てられているが、より現実的に各行政区別に住民との協働作業で個別に逆読みする必要がある。このことを踏まえて以下、町長の所見を伺う。

1 行政区別に世帯、人口等を把握し、顔のみえる関係づくりに SNS を活用する意思はないか。個人の情報取扱いに関し懸念があるとはいえ、町民の安全安心を考えると果敢に対策をたてる必要があるのではないか。

2 町内で三世代で所帯を持たれたり、住まいは別でも一族で住んでおられる皆さんを応援する意思はないか。

3 いわゆる「不明土地」が問題となっているが、過疎がすすむと不動産等資産は減少、ますます固定資産税の課税基準未満の土地増大の懸念が生ずる。また長期の相続未了土地も解消されないと思うが、国の特措法はそれとして、独自の施策を用意する意思はないか。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 30 年 12 月定例会

議席番号 4 番  
高橋 速円議員

老朽化した町営住宅について（その後の進捗）

大門の町営住宅について以前伺った。老朽化が著しい施設であり、早急に善処されるべきだ。以前の町長答弁では近々に対処するとの内容だったが、来年度予算にどのように反映されるのか。大門住宅は借地であり、当時のことを伺うと多額の借地料には代えられない意味があったと認識している。住宅政策は新規に区画造成する傍ら賃貸借の住宅も各種用意されるべきだ。

大門の賃貸借住宅について、再度町長に伺う。